

議案等の審議結果一覧

平成28年第6回恩納村議会定例会(9月定例会)

会期:平成28年9月12日~23日

議案番号	件名	議案等の概要	結果
議案第56号	恩納村附属機関設置条例の一部を改正する条例について	「恩納村心身障害児適正就学指導委員会」を「恩納村教育支援委員会」に改める。	原案可決(全会一致)
議案第57号	恩納村職員の再任用に関する条例の制定について	職員の再任用に関し、必要な事項について条例を新たに定める。	原案否決(賛2:反12)
議案第58号	平成28年度恩納村一般会計補正予算(第2号)について	補正前の額 82億9,195万9千円 補正額 4億9,122万3千円 予算総額 87億8,318万2千円	原案可決(全会一致)
議案第59号	平成28年度恩納村国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	補正前の額 19億3,333万6千円 補正額 △1,405万2千円 予算総額 19億1,928万4千円	原案可決(全会一致)
議案第60号	平成28年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	補正前の額 8,874万3千円 補正額 22万2千円 予算総額 8,896万5千円	原案可決(全会一致)
議案第61号	平成28年度恩納村下水道事業特別会計補正予算(第2号)について	補正前の額 7億13万3千円 補正額 1,850万8千円 予算総額 7億1,864万1千円	原案可決(全会一致)
議案第62号	平成28年度恩納村水道事業会計補正予算(第3号)について	資本的収入 既決予定額 9,200万3千円 補正予定額 1,750万円 合計 1億950万3千円 資本的支出 既決予定額 2億6,676万8千円 補正予定額 4,300万円 合計 3億976万8千円 議会の議決を経なければ流用することのできない経費 既決予定額 4,673万1千円 補正予定額 35万3千円 合計 4,708万4千円	原案可決(全会一致)
議案第63号	平成28年度恩納漁港整備工事請負契約について	契約方法:指名競争入札(9社指名) 契約金額:1億4,364万円 契約相手方:座波建設(株)・(有)田仲建設建設工事共同企業体	原案可決(全会一致)
議案第64号	谷茶前の浜駐車場及び石碑整備工事請負契約について	契約方法:指名競争入札(8社指名) 契約金額:5,054万4千円 契約相手方:(有)新里建設	原案可決(全会一致)
議案第65号	恩納村立恩納幼稚園複合遊具等備品購入契約について	契約方法:指名競争入札(6社指名) 契約金額:826万2千円 契約相手方:(株)沖縄工設	原案可決(全会一致)
議案第66号	恩納村マイクロバス車両購入契約について	契約方法:指名競争入札(3社指名) 契約金額:654万5,437円 契約相手方:沖縄ふそう自動車(株)	原案可決(全会一致)
認定第1号	平成27年度恩納村一般会計歳入歳出決算の認定について	歳入決算額:88億5,000万2千円 歳出決算額:85億2,219万6千円 差し引き額:3億2,780万6千円 繰越財源:3,185万5千円(明許繰越) 実質収支:2億9,595万1千円	認定(全会一致)

吉山盛次郎 議員



地方創生人材支援制度の活用

質 地方創生に積極的に取り組む村に対し、意欲と能力のある国家公務員、また、大学研究者、民間人材を、市町村長の補佐役として派遣し、地域に応じた処方箋づくりを支援する制度です。観光の村「恩納村」に特化した制度の運用、活用できないか。

答 企画課長 山城 雅人
本支援制度に限らず、全庁的な業務の中で必要に応じて、国や民間のアドバイザー等の制度を活用していきたい。
質 村長から、具体的に人材の採用ができるか。
答 村長 長浜 善巳

沖繩総合事務局から現在、企画課に通信跡地利用のアドバイザーということで来ております。今、職員がとっても刺激を受けているところがあります。

今後、農林水産、建設業、福祉も専門的なアドバイザーが、今後は必要になってくる。国、県から呼び寄せて、的確に配置していければと思います。

観光協会の事務局長をしております方は、これまで沖繩コンベンションビューローで勤めておりました。この人の力も借りながら、観光協会の新たな推進に向けて進めているところです。

DMOも今後、必要になってくる。人材支援制度を活用して、観光にも特化できる人と呼んで配置できればと考えています。

質 アドバイザーや、そういう派遣した人にしっかりと付いて、そのノウハウを習得できる、盗める、そういうシステムをつくって頂きたい。
答 村長 長浜 善巳
総合事務局に職員を派遣できないか、常々話している。今年、一

人の採用枠は、この派遣のための採用ということですが、今後も、採用していかうと考えているところがあります。

シルバー人材センター設立及びシルバー人材の活用

質 団塊世代が働く場所を確保するためには、やっぱり組織だったものが必要だと思う。

シルバー人材センターを設立及び人材の活用が、急務じゃないのか。

答 福祉健康課長 長浜 保治
センター設立を考えている個人や団体がいれば、支援を検討していきたい。

また、シルバー人材の活用は、村社会福祉協議会の意見を聞きながら、検討していきたい。

質 是非とも、その辺を予算の中で計画を立てて、何時やるということも聞きたい。
答 福祉健康課長 長浜 保治
平成29年度の予算編成に関して庁内で議論をし、なるべくそのような方向で解決できればと考えております。

平成27年度「主要施策の成果説明書」及び「事務事業の点検及び評価報告書」

質 事業内容に、指定管理者側と意思疎通を図ったとあるが、具体的に事業内容に沿った事務調整を、伺います。

答 社会教育課長 大城 保篤
平成26年度からアンケート、平成28年度からは月に一回ミーティングを、係と指定管理者の全スタッフを原則として、会議を開いております。

村体育施設苦情・要望内容覧、これも指定管理者スタッフが利用者やとりとして、全て日誌形式で記録され、毎月報告として上がっております。

質 赤間運動場の閉場時間延長は、可能か。

答 社会教育課長 大城 保篤
今年の8月から10月までは、従来20時というのを21時まで使用可能という状態にしています。延長可能かということで、スタッフを含めて協議しないと即答する部分ではないので、ちょっと申し上げられません。